



## 地震の予知はどのくらいできるの

### 地震の前ぶれから、予知はむずかしい

過去に起きた地震の、観測データ(資料)を調べてみると、大きな地震が起こる前に、土地が盛り上がりたり、しずんだりする変化や、土地が水平に移動する変化、それに、地下水の水位の変化、動物の異常な行動などの、前ぶれが現れることがあります。これをもとにして、地震の予知ができるのではないかと考えられます。

しかし、このような地震の前ぶれは、いつもあるとはかぎりません。また、少し深い所で起こる地震は、ほとんど、何の前ぶれもなく起こります。

しかし、地震が長い間起こっていない、空白地域は、近いうちに、地震が起こる可能性が高い、と考えられています。

### 地震の起こる可能性は予知できる

地球の表面は、厚さが70～100キロメートルの、十数枚の岩板でできていて、これをプレートといいます。プレートは動いています。

日本列島の太平洋側では、太平洋プレートと、フィリピン海プレートが、しずみこんでいるので、陸側がおさねながら、引きずりこまれています。それで、いつかは、巨大地震(マグニチュード8以上)が起こる、と予知されています。

東海地方などの巨大地震は、100～150年の間かくで、くり返し起こっています。今後、東海地震が起こる可能性は、高いといわれています。

しかし、地震には、まだわからないことが、たくさんあります。今のところ、地震の起こる日や大きさまでは、正確に予知することはできません。(監修・国司 真)

